

市中小企業・小規模企業振興会議

【第5回会議】

1 開 会

2 協 議

(1) 各事業の取組み状況について

3 その他

4 閉 会

- 平成29年6月28日(水) / いわき市役所(第3会議室)

1. 各事業の取組み状況について

今回は、着色された取組み（新たな取組みや検討が進んだ事業など）を協議

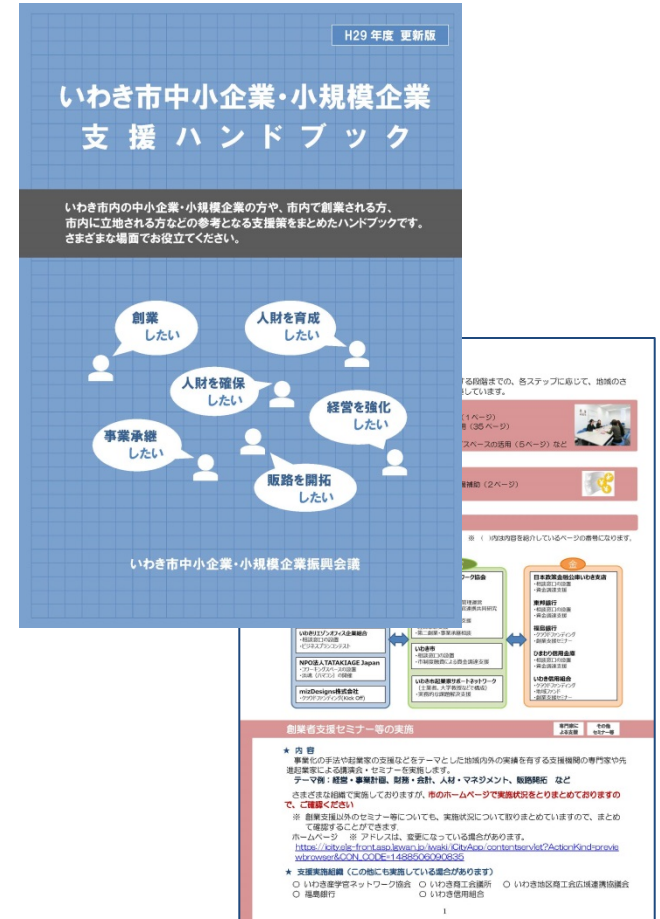
主要なテーマ	方向性：各機関の取組みの磨き上げ+連携した仕組みづくりを構築	
<p>人財の確保・育成</p>	<p>①奨学金返還支援</p> <p>②表彰認証制度要件化</p> <p>③企業活性化プロジェクト</p>	<p>⑨研修等カンダー化</p> <p>⑩野心ある高校生ハイスクールカレッジ</p> <p>⑮連携した伴走型支援事業新規構築 （いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係機関が一体となった伴走型支援 ◆ 地域の中小企業等を強くし、関係機関における支援ノウハウの共有・蓄積を図る ◆ 活動の財政基盤を官民が負担し合う
<p>経営基盤等強化・事業活動の拡大</p>	<p>④本社機能等誘致</p> <p>⑤官公需契約目標設定</p> <p>⑥施策パンフレット改善</p> <p>③企業活性化プロジェクト(再)</p>	<p>⑪経済情勢共同把握</p> <p>⑫共同商談会開催</p>
<p>創業及び事業転換等の促進</p>	<p>⑦浜魂の拡大充実</p> <p>⑧いわき事業承継支援センター開設</p>	<p>⑬創業支援計画拡充</p> <p>⑭創業スクールの開催</p>

1. 各事業の取組み状況について

各機関の新たな取組みについて意見交換を行う。

施策パンフレット改善

<p>主体</p>	<p>いわき市中小企業・小規模企業振興会議</p>
<p>主な内容</p>	<p>□ 中小企業・小規模企業に対する施策を整理したパンフレット（ガイドブック）を「施策を探す企業」に見やすい掲載方法を改めて検討するとともに、掲載する施策の更新なども行う。</p>
<p>取組み状況</p>	<p>□ 国・県の施策に加え、市内関係団体の施策も掲載。現在、関係団体等に内容確認を依頼し、最終校正を実施中。</p>



1. 各事業の取組み状況について

各機関の新たな取組みについて意見交換を行う。

浜魂の拡大・充実

主体	TATAKIAGE Japan
主な内容	<ul style="list-style-type: none">□ 経済産業省と協働で、被災12市町村から事業を通じて社会を動かす取組み「フロンティア・ベンチャー・コミュニティ（FVC）」を始動。□ いわきアカデミアと協働でハマコンを開催など。
取組み状況	<ul style="list-style-type: none">□ 富岡町で浜魂を開催。□ いわきアカデミアと協働でハマコンを開催（インターンシッププログラムに参加した大学生が登壇）□ 「おでかけ浜魂in久之浜」の開催に向けて準備中

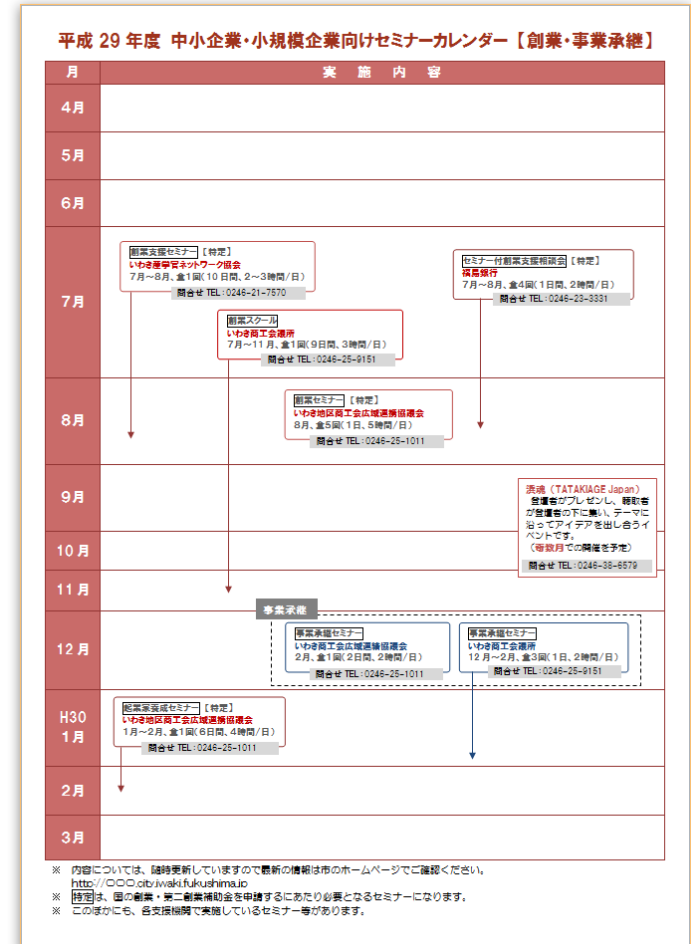


1. 各事業の取組み状況について

各機関の新たな取組みについて意見交換を行う。

研修等カレンダー化

主体	いわき市中小企業・小規模企業振興会議
主な内容	<p>□ 各機関等が行う創業や経営支援セミナーなどを、一体的に広報し、受講希望者の利便性を図るため、研修等カレンダーを作成</p>
取組み状況	<p>□ 随時更新できるよう、データ化し、各機関等のHPからリンクが貼れるような形で対応できないかを検討中</p>



1. 各事業の取組み状況について

各機関の新たな取組みについて意見交換を行う。

野心ある高校生ハイスクールカレッジ

<p>主体</p>	<p>市内企業、福島高専、いわき地区商工会 連絡協議会</p>
<p>主な 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 市内在住の若者の経営感覚を早期育成し、地域人材の底上げを目指すため、高校・高専生徒を対象として実施する人材育成事業（3人で1チームを形成）。 □ 市内企業を訪問し、企業の課題に対する改善提案を作成・プレゼンする取組み。
<p>取組み状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 全6回のプログラムを終了し、経営改善プレゼンテーションで最優秀グループに選ばれたチームが、8月に行われるパラオビジネス研修に向けて、勉強中。



1. 各事業の取組み状況について(いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金)

本基金は、**商工団体や金融機関、市内企業、市など様々な機関が原資を持ち寄り創設し、これを原資に用いて、新たな経営基盤の構築等、中小企業・小規模企業の生き残りをかけた戦略的な取組みに対し、各機関が連携し、それぞれの強みを発揮しながら、現状認識→計画作成→実施・実践まで、一気通貫で『伴走型支援』を行っていくもの。**

I・制度名 いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金

II・支援対象(対象事業者、対象事業)

1. 対象事業者 : 経営(事業)のさらなる成長を目指し、経営戦略の構築等イノベーションに意欲的に取り組もうとする市内の中小企業・小規模企業で、審査会等で選考された企業。
2. 対象事業 : 中小企業・小規模企業の共通課題を前提とした
 - ①顧客ニーズが高度化・多様化する中で「**経営の高度化**」に資する事業
 - ②「**人手不足**」解決の手段としてIT活用など生産性向上(付加価値向上・業務効率化)に資する事業
 - ③需要動向を見据えて、攻めの「**販路開拓・拡大**」(データに基づく顧客管理・販売促進等)に資する事業
 - ④「**事業承継**」を前提とし、事業性評価を高めるための業態変化に資する事業等のいずれかの解決を通して、新たな経営基盤の構築(企業イノベーション)につながる取組み。

III・支援内容

1. 商工団体や専門家(産業支援機関、士業など)と金融機関が連携し、対象となる事業の推進に対する伴走型支援を行うとともに、取組みに必要な経費の一部を補助(補助率3分の2以内、上限50万円程度)。
2. なお、採択後は**対象事業者の経営状況を把握し、伴走型支援として商工団体や専門家、金融機関で様々な経営資源を投入し、強い(自立的な)企業の創出の実現を図る。**

IV・事業実施体制

1. 事業は、商工団体や専門家、金融機関、行政などによって、「**いわき市中小企業・小規模企業振興協議会**」を組織する。
2. なお、**事業実施の基盤として、2000万円程度の基金を造成し、5年間程度にわたって事業を実施するとともに、その成果を踏まえ、事業の継続・拡大を検証していく。**

実施事業のイメージ

中小企業・小規模企業

商工団体や専門家（士業、支援機関等）、金融機関等

現状認識

意識醸成

・業態変化や経営革新の必要性認識

自社の分析（強みや課題等）

ニーズの把握・分析

計画作成

課題解決に向けた事業計画作成

・商品や技術の開発
・新たなシステムの導入
・効果的な販売戦略の立案 等

実施・実践

資金調達（助成金・融資の確保等）

事業計画の推進

・設備投資、開発
・商談会等への出展等

○事業者ヒアリング

○経営課題把握（強み、弱み等）支援

○事業計画策定・提出支援 等

商工団体

専門家

意欲ある企業の選定
（審査会等）

○経営相談
○会社分析（ニーズ把握・分析）支援 等

○市場分析支援
○技術開発支援
○事業化調査支援
○販売戦略立案支援 等

○資金計画策定支援
○助成金等申請支援 等

○融資制度活用支援
○ネットワーク構築支援
○出展・雇用支援 等

商工団体
専門家と
金融機関等
が連携

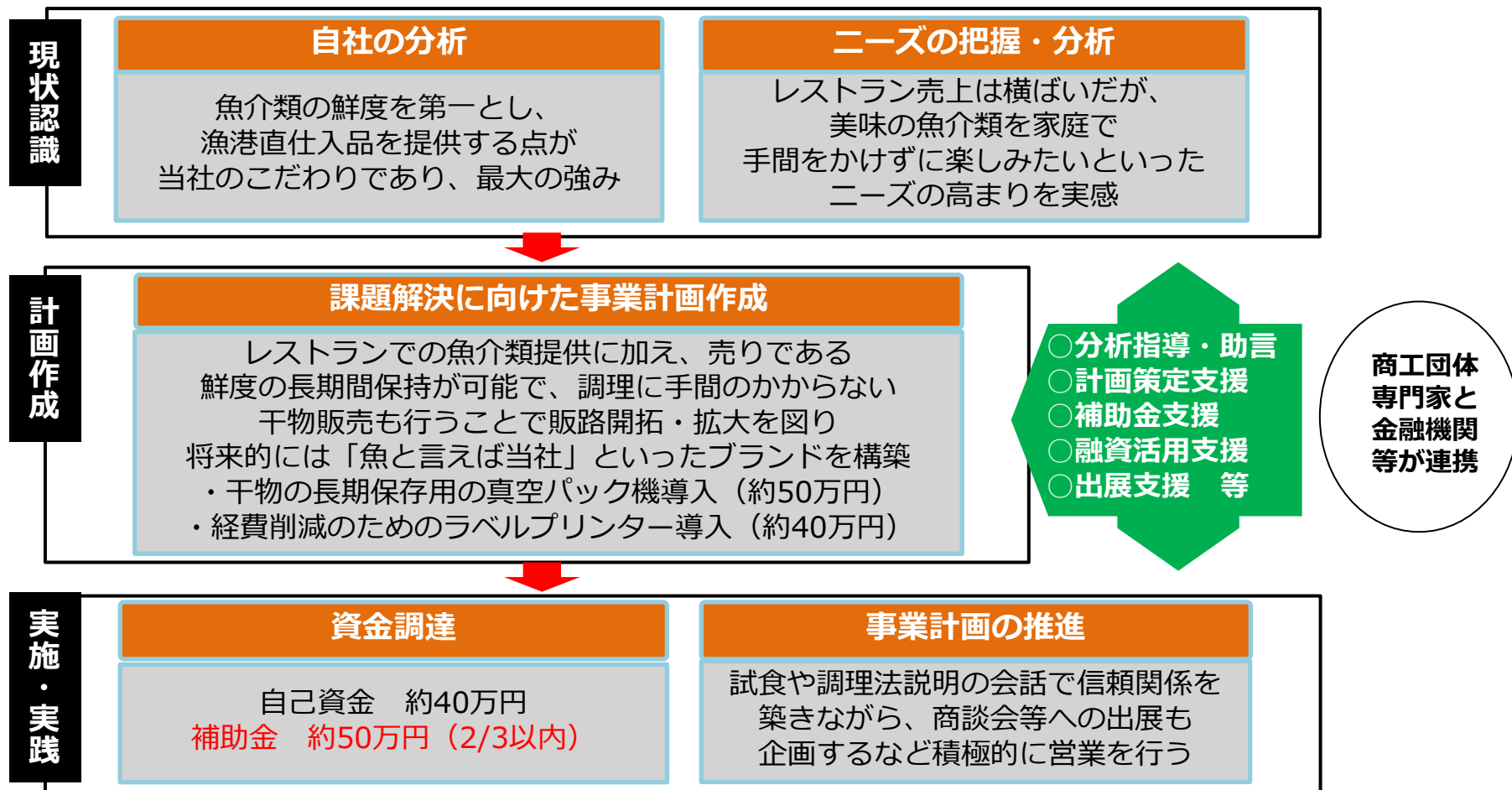
経営状況や
支援状況の
情報を共有
し磨き上げ

（仮称）
中小企業等振興協議会

強い（自立的な）中小企業・小規模企業の早期創出と支援ノウハウの共有

「廃業予定」と回答した企業が多かった飲食店・理美容店をモデルとして、支援対象となるような取組み事例を紹介

モデルケース1: 飲食店（レストラン、従業員3名）における業態変化の事例



モデルケース2: ヘアサロン（従業員5名）における業態変化の事例

現状認識

自社の分析

理容師・美容師の有資格者をスタイリストとして雇用しており、理美容双方のサービスをワンストップで提供できることが強み。

ニーズの把握・分析

中高齢女性層を中心にアンチエイジング髪のダメージを抑えた白髪染、顔剃り、頭皮ケア等の根強いニーズがある。近隣競合店は低年齢向け・低料金店舗のみ。

計画作成

課題解決に向けた事業計画作成

理美容双方のサービス可能といった強みを活かすため、髪・頭皮・肌のサービスをセットにし、ヘアサロンにエステ・ケア機能を組み合わせることで、トータルビューティの商品を提供し、客単価向上を図るとともに、これを効果的にPRし、リピーター・男性客・移転被災者顧客を確保する。

- ・美顔マシンの導入（約40万円）
- ・顧客管理システム導入、HP制作（約52万円）

- 分析指導・助言
- 計画策定支援
- 補助金支援
- 融資活用支援
- 広報宣伝支援等

商工団体
専門家と
金融機関
等が連携

実施・実践

資金調達

自己資金 約42万円
補助金 約50万円（2/3以内）

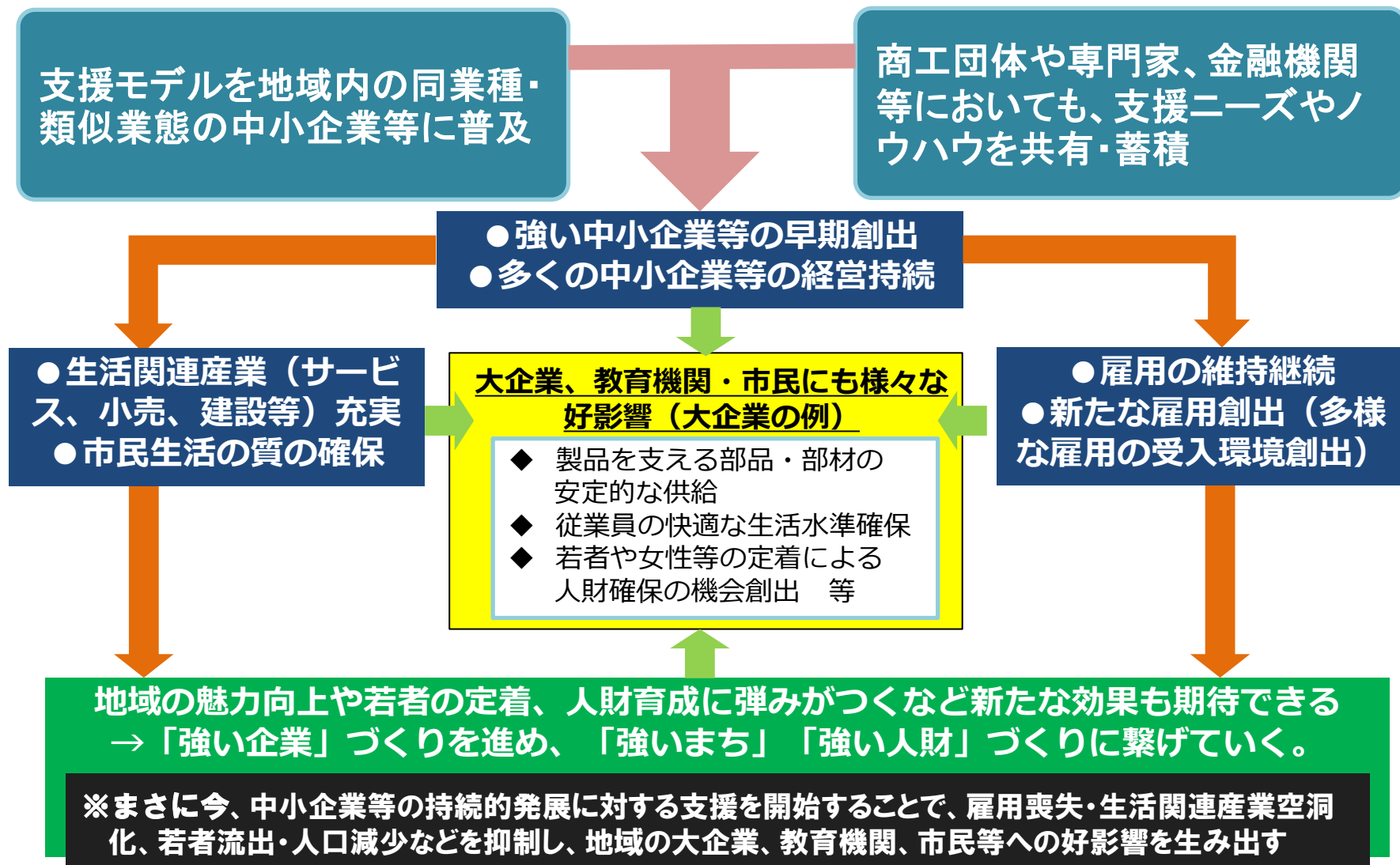
事業計画の推進

顧客管理システムにより、定期的かつ最適時期（手入れ、割引適用期限）に顧客にDMを発送

こうしたモデルを、多くの同業種・類似業態の企業に周知し、強い中小企業等の創出につなげる。また、こうした生活関連産業の中小企業等が経営を持続することで、市民生活の質が確保される。

1. 各事業の取組み状況について(いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金)

本事業で、意欲ある中小企業等の生き残りをかけた戦略的な取組みを支援する仕組みを実践



1. 各事業の取組み状況について(いわき市中小企業・小規模企業経営発達補助金)

事業実施体制

商工団体や専門家、金融機関、行政など、「いわき市中小企業・小規模企業振興会議」のメンバーを中心とした「いわき市中小企業・小規模企業振興協議会」を組織し、事業を実施していく。

いわき市中小企業・小規模企業
振興協議会【◎会長、○副会長】

◎いわき商工会議所

○いわき地区商工会連絡協議会

福島県中小企業家同友会いわき地区

いわき経済同友会

○基金の管理組織
○承認機関（幹事会の報告を受け、承認）

ひまわり信用金庫

いわき信用組合

いわき市

各機関等の長で構成する「いわき市中小企業・小規模企業振興協議会」と基金事業の実行組織である「幹事会」の二部構成。

幹事会

いわき商工会議所

いわき地区商工会連絡協議会

福島県中小企業家同友会いわき地区

いわき経済同友会

○基金事業の実行組織（= 振興会議の構成員）

いわき産学官ネットワーク協会

支援関連等専門家

金融機関

いわき市

振興会議

市中小企業・小規模企業
振興条例に基づき設置

振興会議は、市条例に基づく機関であるため、別途、事業実施主体として幹事会を設置